

■機能要件一覧表(必須)

1 記載項目(全70項目)

①除雪集計システム(管理用)【60項目】

②除雪集計システム(公開用)【10項目】

2 記載方法

※機能要件一覧表の各項目を確認した上で確認欄に対応可能かどうか○、×を記入し提出すること。

※全項目必須要件とし、対応不可能な項目があった場合はプロポーザルには参加できないものとする。

■ 機能要件一覧【除雪集計システム（管理用）】

分類	No.	機能内容	確認欄	備考	
全般	1	本システムは、データセンターのクラウド上に置かれたサーバで稼働すること。			
	2	発注者職員用端末ブラウザでアクセスが可能なこと。			
	3	Webサイト内で機能利用制限に合わせた操作説明が参照できること。			
	4	システムにアクセスするために、ネットワークの設定変更が発生しないこと。			
	5	GPS端末等を除雪車両に携行し、除雪車両の現在位置、作業・稼働軌跡がリアルタイムで確認できること。			
	6	上記(No,5)データより、日報、月報、請求書等が容易に作成できること。			
	7	除雪車両1台ごとに作業・移動軌跡をデータベースとして記録できること。			
	8	上記(No,7)データベースにデータを1年以上保管できること。			
	9	保管期限を過ぎたデータは、CD、DVD等の記録媒体に保管できること。			
除雪業務	作業実績管理	10	除雪作業日、地域、業者等を複合的な条件で指定し、作業開始から終了までのタイムバーの表示・印刷ができること。		
		11	上記(No,10)データより、除雪車両の作業・移動軌跡を地図と重ねて表示できること。		
		12	元請同様に、下請けでの作業状況についての管理もできること。		
		13	GPS端末等を携行しない除雪に関連する作業(ハンドガイド除雪、パトロール等)の情報を登録できること。		
		14	上記(No,13)データを、除雪車両作業・移動軌跡と地図を重ねて表示できること。		
		15	除雪車両の移動軌跡及び位置情報から稼働、休止及び除雪路線内外かの判定ができ、かつ集計ができること。 休止、除雪路線外についてアラームがでること。		
		16	作業実績について、システム上での新規登録及び修正ができること。		
		17	作業実績の新規登録及び修正の申請、承認のワークフローがあること。		
		18	除雪車両の作業実施時間より稼働時間の集計、除雪費の算出ができること。		
		19	除雪車両の移動軌跡を基に、休止路線外の作業時間を期間・地域・業者等で集計できること。		
	20	除雪車両に紐付かない作業(人力除排雪、誘導員等)についても、その実績を登録できること。			
日報	21	除雪作業日、地域、業者等を複合的な条件で指定し、日報が確認できること。			
	22	上記(No,21)データを、エクセル又はCSV及びPDFファイルで作成・管理できること。			
業排務雪	23	排雪作業専用車両についても本システムで管理ができること。			
	24	発注者が発注書を作成し、除雪業者へ指示、作業実績が登録できること。			
日常業務	作業確認状況	25	除雪作業日、業者、地区、作業状況などを指定して除雪車両稼働状況が一覧で確認できること。		
		26	上記(No,25~27)一覧より、除雪車両の作業・移動軌跡を地図と重ねて表示できること。		
		27	GPS端末等を携行しない除雪に関連する作業(パトロール等)についても、除雪作業日、地域、業者等を複合的な条件で指定し、作業実績の確認・印刷ができること。		
	値降入積力雪	28	降積雪観測地の降積雪値について登録できること。		
		29	登録した降積雪値情報より観測地、月、シーズンごとに集計できること。		

分類		No.	機能内容	確認欄	備考
日常業務	地図サイト	30	除雪作業日、地域、業者、除雪車両等を複合的な条件で指定し、地図上で除雪車両の位置、除雪車両作業・移動軌跡が確認できること。		
		31	除雪車両の移動軌跡ごとに、車両の属性情報やそのときの作業状況が確認できること。		
		32	苦情要望管理で登録された情報を地図上で重ねて確認ができること。		
		33	地図の拡大・縮小表示ができること。		
苦情要望		34	苦情・要望について位置と共に内容を登録、閲覧できること。		
		35	受付日、地域、区分等を複合的な条件で指定し、集計ができること。		
		36	受付・処理内容を登録できること。また、処理状況の登録・集計ができること。		
		37	過年度の苦情・要望を閲覧できること。		
月次業務	月報	38	年月、地域、業者等を複合的な条件で指定し、月報が確認できること。		
		39	上記(No,40)データを、エクセル又はCSV及びPDFファイルで作成・管理できること。		
	請求書	40	年月、地域、業者等を複合的な条件で指定し、請求書及び内訳書が確認し出力できること。		
		41	上記(No,42)データを、エクセル又はCSV及びPDFファイルで作成・管理できること。		
予算管理	管予一般 理算般	42	除雪費当初予算及び補正予算の登録、確認ができること。		
		43	除雪費当初予算及び補正予算と日々変化する除雪作業に伴う支出額(支払予定額含む)の対比ができること。		
		44	指定した基準日における支出済みの経費及び支出見込みの経費を機械ごと、業務ごと及び地域ごとに集計できること。		
		45	機械除雪以外の費用(機械固定費、運搬排雪費、パトロール費等)についての作業実績の集計ができること。		
		46	除雪作業路線区分(雪寒指定路線内・外、及び第1種指定路線、第2種指定路線、第3種指定路線、歩道、施設、雪捨場、私道など)毎に執行額を集計できること。		
	管予道雪 理算路寒	47	基準日を指定し、雪寒道路積算結果を確認できること。		
48		上記(No,49)データを、エクセル又はCSV及びPDFファイルで作成・管理できること。			
管テシ 理ムス		49	発注者が本システム運用に必要な各種マスタの設定ができること。		
		50	管理者、発注者、除雪業者ごとに機能の制限が行えること。		
		51	各種作業単価について、除雪シーズンの途中でも単価改正に対応できること。		
その他		52	運行時間集計のまるめ処理について、5分単位での処理が行えること(端数切捨て)。		
		53	私道路線については1分単位での集計ができること。		
		54	排雪費集計について、市の助成金管理ができること(ダンプトラック不使用時の助成、豪雪対策本部設立時の委託費割引、シーズン2回目以降の委託費割引)。		
端G 末P 等S		55	位置情報取得は5秒間隔、サーバへの位置情報送信は30秒間隔でできること。		
		56	直感的に操作しやすく、高齢のオペレータでも容易に操作できるよう配慮すること。		
		57	除雪時に除雪配慮箇所(押雪軽減箇所)がある地点に近づくGPS搭載スマートフォン端末に通知する機能を有していること。		
		58	除雪時に危険箇所がある地点に近づくGPS搭載スマートフォン端末に通知する機能を有していること。		
		59	除雪車両のほか排雪車両、凍結防止剤散布車車両でも利用できること。		
		60	歩行式小型除雪機で利用できること。		
				○計	

■機能要件一覧【除雪集計システム（公開用）】

分類		No.	機能内容	確認欄	備考
全般	ウェブ ブラウザ	1	市ホームページからリンクできること。		
		2	Webサイト閲覧ブラウザとして問題なく表示できること。		
	表示	3	利用台数に制限がないこと。		
		4	パソコン、スマートフォン、タブレットで閲覧ができること。		
		5	閲覧範囲の移動及び拡大縮小がスムーズであること。		
		6	地図上に除雪車両全車両の現在位置及び作業軌跡をリアルタイムに表示できること。		
		7	地図上に除雪車両全車両の一定時間前の時点における位置情報を表示できること。		
		8	画面レイアウトは操作性に配慮した構成であること。		
		9	Webサイト内で操作説明が参照できること。		
		10	システムの使用許諾を含む留意事項が表示できること。		
			○計		